



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社パピレス
 コード番号 3641 URL <https://www.papy.co.jp/info/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和

TEL 03-6272-9533

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,561	31.0	314	44.5	285	51.2	184	53.5
2019年3月期第1四半期	4,244	5.9	565	84.8	585	87.6	396	92.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 175百万円 (56.1%) 2019年3月期第1四半期 400百万円 (97.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.66	18.55
2019年3月期第1四半期	40.31	39.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,708	6,750	57.3
2019年3月期	11,789	6,677	56.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 6,706百万円 2019年3月期 6,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,780	18.3	498	55.1	511	55.9	335	57.1	33.95
通期	22,165	15.7	1,671	15.2	1,694	15.0	1,146	15.0	115.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	10,326,880 株	2019年3月期	10,326,880 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	433,563 株	2019年3月期	433,521 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	9,893,337 株	2019年3月期1Q	9,839,101 株

(注)「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2020年3月期1Q 320,000株、2019年3月期 320,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2020年3月期1Q 320,000株、2019年3月期1Q 34,286株)に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直し、設備投資の緩やかな増加等により、輸出や生産の弱さが続いているものの、景気が緩やかに回復しています。

電子書籍の市場環境は、2018年4月に海賊版サイトの代表格である「漫画村」が閉鎖されて以降、堅調に市場規模が拡大していますが、市場参入企業も多く、厳しい競争が続いています。この結果、コンテンツ需要の増加による、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入コストが上昇しています。また、集客を強化するための、広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義のもと、サービスの向上と他社との差別化を図るとともに、広告宣伝と販売促進施策を積極的に行うことによって、事業拡大に努めています。また、海外市場の開拓及び次世代コンテンツの開発にも積極的に取り組んでいます。さらに、広告宣伝、サイト検索機能の向上のために、AIの実用化を進めています。

広告宣伝は、TVCMの実施、新手法のインターネット広告の導入等、積極的に実施しました。

販売促進は、効果検証を進め、効率性の向上に努めました。

海外市場の開拓は、広告宣伝施策の強化、サイトの改良、翻訳体制の強化を進め、売上規模が拡大しています。

次世代コンテンツの開発は、制作体制の強化により、コンテンツの制作数が増加しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,561百万円（前年同四半期比31.0%増）、営業利益は314百万円（前年同四半期比44.5%減）、経常利益は285百万円（前年同四半期比51.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円（前年同四半期比53.5%減）となりました。

以下、当第1四半期連結累計期間における主な活動状況を報告します。

(集客施策)

TVCM、インターネット広告等の広告施策を積極的に実施するとともに、広告効率の向上に努めました。

TVCMは、第5作目として「Renta! レンタウロス編」をリリースしました。

また、当社独自のキャンペーン施策等を積極的に実施しました。大手出版社と協力して「48時間 100円レンタル」キャンペーンや、「BLコミックコンシェルジュ」等のオリジナルキャンペーンを実施しています。

(サイト改良施策)

「Renta!」の検索表示改良、1 to 1 表示最適化改良を実施しています。

(コンテンツ施策)

「Renta!」を中心に、タテ読みフルカラーコミック「タテコミ」の拡充を進めています。「タテコミ」の普及を目的としたキャンペーン施策を実施しています。

また、オリジナル電子コミックレーベル「Renta! コミックス」で、少女漫画レーベル「hanamomo」を開始し、週刊連載をスタートしています。

(次世代コンテンツ開発施策)

小説の文章を短く区切り、画像を追加した「絵ノベル」（特許取得済）及びコミックを動的演出で見せる「コミックシアター」のフルカラー化、フルボイス化などの改良を進めています。

また、「タテコミ」にアニメーション効果を付加した「タテコミMove!」の制作体制の強化も進めています。

さらに、マンガをフルカラー化して、モーションと人気声優によるボイスを付加した、スマホで見るタテ型マンガアニメーション「アニコミ」をリリースしました。

(海外展開施策)

「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の翻訳体制の強化を進め、掲載コンテンツを拡充しています。

また、「中国語繁体字版Renta!」は、台湾の大手出版社のコンテンツ掲載を開始しました。

さらに、海外向け電子書籍取次販売事業を、株式会社アムタスと協力して行うことを目的とした合弁会社(子会社)、アルド・エージェンシー・グローバル株式会社(略称: AAG)の設立準備を進めました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、11,708百万円(前連結会計年度末比0.7%減)となりました。

流動資産は、10,969百万円(前連結会計年度末比0.7%減)となりました。主な内訳は、現金及び預金が8,297百万円、売掛金が2,291百万円です。

固定資産は、738百万円(前連結会計年度末比0.8%減)となりました。主な内訳は、投資その他の資産が688百万円です。なお、重要な設備の新設および除却はありません。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、4,957百万円(前連結会計年度末比3.0%減)となりました。

流動負債は、4,957百万円(前連結会計年度末比3.0%減)となりました。主な内訳は、買掛金が2,629百万円、未払金が1,084百万円です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、6,750百万円(前連結会計年度末比1.1%増)となりました。主な内訳は、資本金が414百万円、資本剰余金が891百万円、利益剰余金が6,299百万円です。

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は57.3%(前連結会計年度末56.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,565	8,297
売掛金	2,209	2,291
コンテンツ資産	6	9
その他	275	386
貸倒引当金	△12	△15
流動資産合計	11,044	10,969
固定資産		
有形固定資産	51	49
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産	692	688
固定資産合計	744	738
資産合計	11,789	11,708
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,453	2,629
未払金	1,004	1,084
未払法人税等	553	105
賞与引当金	54	33
株式報酬引当金	103	129
その他	942	974
流動負債合計	5,111	4,957
負債合計	5,111	4,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	414	414
資本剰余金	891	891
利益剰余金	6,216	6,299
自己株式	△889	△890
株主資本合計	6,632	6,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	△1	△8
その他の包括利益累計額合計	△0	△7
新株予約権	25	25
非支配株主持分	20	19
純資産合計	6,677	6,750
負債純資産合計	11,789	11,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,244	5,561
売上原価	1,857	2,513
売上総利益	2,387	3,047
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,080	1,683
代金回収手数料	330	445
貸倒引当金繰入額	9	7
賞与引当金繰入額	9	18
株式報酬引当金繰入額	10	25
その他	382	553
販売費及び一般管理費合計	1,821	2,733
営業利益	565	314
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	17	-
退会者未使用課金収益	1	1
その他	0	0
営業外収益合計	19	1
営業外費用		
為替差損	-	29
その他	0	-
営業外費用合計	0	29
経常利益	585	285
税金等調整前四半期純利益	585	285
法人税、住民税及び事業税	188	99
法人税等調整額	1	3
法人税等合計	190	102
四半期純利益	394	182
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	396	184

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	394	182
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6	△6
その他の包括利益合計	6	△6
四半期包括利益	400	175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403	177
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な子会社の設立)

当社は、2019年7月に、海外向け電子書籍取次販売事業を協力して行うことを目的として、株式会社アムタスと共同出資して、合弁会社(子会社)を以下のとおり設立しました。

① 名称	アルド・エージェンシー・グローバル株式会社
② 本店所在地	東京都千代田区紀尾井町3番12号
③ 事業の内容	海外向け電子書籍取次販売事業
④ 資本金	50百万円(資本準備金 50百万円)
⑤ 設立の時期	2019年7月
⑥ 取得した株式の数	6,660株
⑦ 取得金額	66.6百万円
⑧ 出資比率	当社 66.6%(株式会社アムタス 33.4%)